

# THERMAL HYDRAULICS

熱流動部会ニュースレター (第 79 号)

AESJ-THD

NEWSLETTER (No.79)

Feb. 14th 2013

## 会員総会報告

### 熱流動部会第 39 回会員総会議事録

- (1) 日時：平成 24 年 9 月 19 日 (火) 12:00-12:40
- (2) 場所：「2012 年秋の大会」L 会場 (広島大学東広島キャンパス)
- (3) 配布資料：
  - 1) 議事次第, 平成 23 年度熱流動部会役員
  - 2) 総務小委員会の活動報告  
参考資料①国際会議等経費貸付申請書 (NTHAS8)  
参考資料②平成 24 年度収支予算及び実績表
  - 3) 研究小委員会の活動概要  
添付資料 「シビアアクシデント評価」研究専門委員会活動中間報告
  - 4) 国際小委員会の活動概要報告
  - 5) 広報小委員会活動報告

#### 議事

#### 1. 平成 24 年度部会長挨拶

木下部会長より開会の挨拶があり, 平成 23 年度は, これまで部会事業として実施してきた「Dr.フォーラム」の改革を検討している。若手技術者・研究者育成の観点からより良いフォーラムとするため, 部会員の皆様からのご提案, ご意見をいただきたいことが述べられた。

#### 2. 総務小委員会報告

西委員長から, 配布資料 2)を用いて, 部会等運営委員会において検討されている総会の開催予定 (基礎ポイント制による巡回開催), 部会運営会議の開催, NTHAS8 予算 (国際会議等経費貸付の本部への申請及び承認), 「2012 年秋の大会」プログラム編成委員 (委員引き継ぎの検討) について説明が

なされた。また, 熱水力 WG を含む平成 24 年度予算案, 部会予算からの主な事業 (日韓学生セミナー, 日本開催の国際会議 (NTHAS, NUTHOS, NURETH)) に関わる長期計画, その他部会からの各種委員選出等について説明がなされ, 承認された。

#### 3. 企画小委員会報告

江原委員長から, 「Dr.フォーラム」の改革案の検討状況について説明がなされた。小委員会 WG (メンバー: 大阪大学 高田委員, JAEA 木村委員) で議論を進めており, これまで, シニア, 中堅研究者・技術者との交流も図るフォーラムとする等の具体的な案が検討されており, 次回「春の年会」の総会で一定の方向性を提示する予定であることが報告された。また, 本件に関して, 国プロで実施中の原子力人材育成プログラムとの連携の可能性について北海道大学・奈良林教授より提案があった。

#### 4. 研究小委員会報告

吉田委員長から, 配布資料 3)を用いて, 研究小委員会の活動概要について説明がなされた。専門委員会活動「熱水力安全評価基盤技術高度化検討 WG」, 「シビアアクシデント評価研究専門委員会」について報告がなされた。また, 「2012 年秋の大会」で開催される「シビアアクシデント評価」研究専門委員会活動中間報告 (9/19 13:00-14:30 L 会場) について紹介がなされた。

#### 5. 国際小委員会報告

山野委員長から, 配布資料 4)を用いて, 国際小委員会の活動概要について説明がなされた。NTHAS8 (12/9-12) 及び日韓学生セミナー (12/7-8) の開催準備状況について説明がなされるとともに,

NUTHOS9 (2013.9/9-13), NURETH15 の共催 (2015.5/12-16), NUTHOS10 (2014 秋) の開催計画について報告がなされた。

#### 6. 広報小委員会報告

伊藤副委員長から、配布資料 5)を用いて、広報小委員会の活動概要について説明がなされた。ホームページの更新、ニュースレターの発行、メーリングリストによる会員への情報提供、部会員の変遷及び構成比率、広報委員会の体制について報告がなされた。

#### 7. 出版小委員会報告

斎藤委員長に代わって西総務委員長より、出版編集小委員会の活動概要について説明がなされた。出版編集小委員会の委員構成、JNST 第 6 分野 (伝熱流動) 論文編集員の構成、JNST のインパクトファクターについて報告がなされた。

#### 8. 表彰小委員会報告

片岡表彰委員長に代わって西総務委員長より、「2012 年春の年会優秀講演賞」候補者推薦について説明がなされた。選考結果の報告の後、木下部長より以下に示す受賞者に対する表彰を行った。

- ・ 山野秀将氏 (日本原子力研究開発機構) 「Na 冷却高速炉における大口径配管の流力振動評価に関する研究(35) ホットレグ配管流力振動評価指針 (案) の作成」
- ・ 渡辺 瞬氏 (筑波大学) 「BWR 下部プレナム内構造物まわりの詳細流動可視化に関する研究(15) 下部プレナム内における複雑流動メカニズムの解明」
- ・ 鈴木翔太氏 (筑波大学) 「電磁波加熱による過渡沸騰現象のメカニズム解明」
- ・ 平井清行氏 (福井大学) 「中間熱交換器 1 次系入口プレナム部流況に関する 3 次元解析」



山野秀将氏 (日本原子力研究開発機構)



渡辺 瞬氏 (筑波大学)



鈴木翔太氏 (筑波大学)



平井清行氏 (福井大学)

## 国際会議・セミナーに関するお知らせ

### 第 8 回「原子炉熱流動と安全に関する 日韓シンポジウム (NTHAS8)」

NTHAS8 (8th Japan-Korea Symposium on Nuclear Thermal Hydraulics and Safety : 第 8 回原子炉熱流動と安全に関する日韓シンポジウム) を、12 月 9-12 日に大分県別府で開催しました。参加者総数 158 名、Plenary および Keynote を含む発表論文数 121 件と、これまでの NTHAS の中で最大規模となりました。韓国からの 54 名を含めて多くの方々にご参加頂き、皆様のおかげで盛況な会議を開催することができました。

主 催 : 日本原子力学会および韓国原子力学会

共 催 : 日本原子力学会・熱流動部会および韓国原子力学会・熱流動部会

会 場 : 別府国際コンベンションセンター  
(B-Con Plaza)

内 容 : 以下の通り。

12/9 : テクニカル・ツアー(学生セミナーとの合同企画)、歓迎レセプション

12/10 : 開会式、総合講演 I, II, 技術セッション

12/11 : 基調講演 I, II, 技術セッション, バンケット

12/12 : 基調講演 III, IV, 技術セッション, 閉会式



概 要 : 本シンポジウムは、2011 年 3 月に福島第一原子力発電所で発生した過酷事故以降、原子炉熱流動と安全分野に特化した国際会議としては国内で初めて開催されたものである。このため、総合講演を始めとしていくつかの基調講演においても、福島事故の原因や事故後の対応に関する話題に留まらず、今後の原子力安全に関わる広範なテーマが活発に議論された。また、技術セッションにおいても最新の過酷事故解析の進捗などの報告が多く参加者の注目を集めていた。さらに、技術セッションの構成においては、軽水炉分野と新型炉分野の口頭発表をジョイント・セッションとすることで、日韓の技術者・研究者の交流を促進するような工夫がなされた。尚、会期中に開催された NTHAS8 組織委員会の日韓合同会議で次回シンポジウム (NTHAS9) が 2014 年に韓国 (候補地・釜山) で開催されることが決議された。

### 第 4 回日韓学生・若手研究者セミナー

上記の NTHAS8 に先立ちまして、日韓の学生および若手の研究者・技術者の方を対象とした 2 日間 (12 月 7-8 日) のセミナー「第 4 回日韓学生・若手研究者セミナー」(原子炉熱流動及び安全に関する日韓学生

セミナー) が大分県別府市にて開催されました。40 名 (講師 : 4 名, 韓国側参加者 : 17 名, 日本側参加者 : 19 名) の方が参加され、最新研究に関する情報交換などを行いました。

主 催 : 日本原子力学会および韓国原子力学会

協 催 : 日本原子力学会九州支部

共 催：日本原子力学会・熱流動部会および韓国原子力学会・熱流動部会

会 場：別府国際コンベンションセンター  
(B-Con Plaza)

内 容：以下の通り。

12/7：受付，キーノート講演(2件)，ポスターセッション(日本側)，晚餐

12/8：ポスターセッション(韓国側)，昼食，キーノート講演(2件)

12/9：テクニカルツアー(九州電力八丁原地熱発電所)

概 要：本セミナーは，日韓原子力学会学術協力協定(平成 21 年 9 月更新)及び日韓原子力学生・若手研究者交流協定(平成 17 年 6 月改訂)に基づき，両国間の学生・若手研究者が研究情報交換を行うとともに親睦を深めることを目的として，2 年に 1 回の頻度で開催されている日韓原子力学生・若手研究者交流事業

である。今回のセミナーは，両国の専門家による原子力熱流動研究に関するキーノート講演 4 件及び参加者全員によるポスター発表で構成された。キーノート講演では質疑が活発であり，学生の意識の高さがうかがわれた。ポスターセッションにおいても 1 時間半を休まず議論がなされた。ベストポスター賞は筑波大と UNIST の各 1 名に贈呈された。

また，3 日間にわたって寝食をともにしたことも相俟って，参加者全員が親睦を深められたように見受けられた。

セミナーの翌日のテクニカルツアーでは，NTHAS8 参加者若干名を加えて，九州電力八丁原地熱発電所を見学に行ったが，今冬一番の大雪となり 1 時間遅れの到着となり，見学も室内に限定された。それにもかかわらず時間超過で質問が相次ぎ熱心な様子うかがわれた。



セミナー後の集合写真



ベストポスター賞 (韓国側)



ベストポスター賞 (日本側)

---

## 平成 24 年度 熱流動部会役員

---

部会長	木下 泉	(電力中央研究所)	同副委員長*	木藤 和明	(日立製作所)
副部会長	中田 耕太郎	(東芝)	企画小委員長**	江原 真司	(東北大学)
総務小委員長	西 義久	(電力中央研究所)	出版編集小委員長**	齊藤 泰司	(京都大学)
同副委員長	守田 幸路	(九州大学)	同副委員長*	劉 秋生	(神戸大学)
広報小委員長**	的場 一洋	(三菱重工)	表彰小委員長	片岡 勲	(大阪大学)
同副委員長*	伊藤 啓	(JAEA)	海外担当役員	二ノ方 壽	(ミラノ工科大学)
研究小委員長**	吉田 啓之	(JAEA)			
国際小委員長**	山野 秀将	(JAEA)			

\*:任期2年の1年目, \*\*:任期2年の2年目

---

### <編集後記>

今号では、会員総会の報告及び第4回日韓学生・若手セミナーの結果を紹介させて頂きました。

ニュースレターへの原稿は、随時受付を行っております。研究室紹介、会議案内、エッセイ等寄稿お願い致します。またニュースレターに関するご質問、ご意見、要望等ありましたら、ぜひe-mailをいただければ幸いです。

また、熱流動部会に入会したい方、入会しているがメールが届かない方が身近におられましたらご相談ください。

e-mail宛先： [ichiyo\\_matoba@mhi.co.jp](mailto:ichiyo_matoba@mhi.co.jp)  
[ito.kei@jaea.go.jp](mailto:ito.kei@jaea.go.jp)

熱流動部会のホームページ：  
<http://www.aesj.or.jp/~thd/>  
からニュースレターの PDF ファイルは入手可能です。